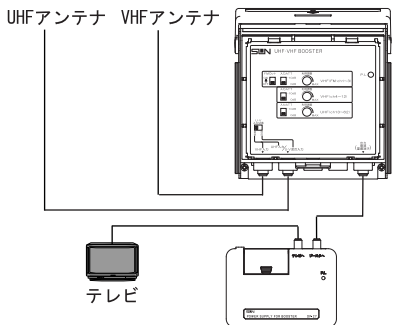
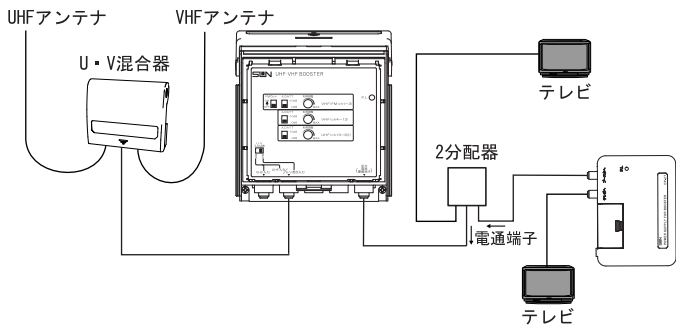


●使用例

①基本的な使用例(単独)



②屋外用2分配器を用いた例(混合)



●トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
テレビの画面に何も映らない	誤接続	配線・接続を確認してください。特に、入力切換スイッチの位置を確認してください。
	配線のショート・断線	配線・接続を確認してください。特に、増幅部と電源部の間に分配器等が接続されていれば電流通過端子へ接続されている事を確認してください。
アナログ放送で画面にスノーノイズが出る(テレビ画面に雪が降ったようなザラザラの状態)	各アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を上げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
アナログ放送で画面にビート縞が出る(テレビ画面に縞模様が出た状態)	F M放送の受信レベルが高い	F Mカットスイッチをカット側(上側)にします。
アナログ放送でワイパー現象やゴーストが出る デジタル放送でブロックノイズが出る	各アンテナからの入力レベルが高い(定格出力オーバー)	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を下げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
	他の電波との混信や建物などによる電波の反射	本器では改善できません。障害を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
	各アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を上げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
	各アンテナからの入力レベルが高い(定格出力オーバー)	入力アッテネータスイッチや利得調整器で利得を下げて調整してください。画面に改善がない場合は各アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
	外部からの妨害電波	本器では改善できません。障害を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

●ブースタは正しくお使いください。

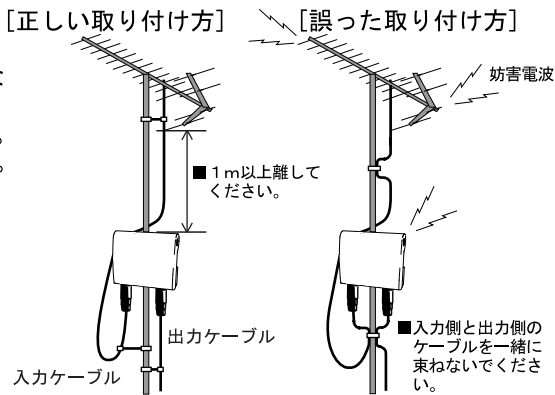
ブースタを正しく取り付けないと自分の家や近所のテレビの写りが悪くなることがあります。

■入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。

■入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースタに巻きつけないでください。

■アンテナマストに取り付ける場合は、UHFアンテナ、VHFアンテナ、ブースタをそれぞれ1m以上離してください。

■本品を設置しても、デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらない場合や下がる場合がありますが、本品の不具合ではありません。「アンテナレベル」や「受信レベル」は、アンテナの方向調整を目的とした機能で、受信C/N比の換算値を表しており、電波の強さを表すものではありません。



■この商品は今後改良・性能向上のため、予告なく形状及び特性を変更することがあります。

デジタル放送受信のトータルプランナー



サン電子株式会社

本 社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-3-12
TEL.03(3374)0081(代) FAX.03(3376)8801

埼玉事業所 〒367-0111 埼玉県児玉郡美里町古郡667-2
TEL.0495(76)3681(代) FAX.0495(76)3688

営業所 東京・大阪・名古屋・福岡・広島・埼玉・横浜・千葉
多摩・仙台・仙北・仙南・神戸・小山・静岡・札幌・群馬

ホームページ <http://www.sun-ele.co.jp>

キ リ ト リ



保証書

サン電子商品をお買い上げいただきありがとうございます。本商品の品質に関しまして裏面保証規定の通り保証いたします。本保証書の再発行はいたしませんのでお手許に大切に保管してください。

サン電子株式会社

本 社 東京都新宿区西新宿4-3-12
TEL 03(3374)0081(代)
埼玉事業所 埼玉県児玉郡美里町古郡667-2
TEL 0495(76)3681(代)
営業所 東京・大阪・名古屋・福岡・広島・埼玉・横浜
千葉・多摩・仙台・仙北・仙南・神戸・小山
静岡・札幌・群馬

商 品 名	SBF-33WA・SBF-33UA・SBF-40WA・SBF-40UA		
お 客 様	ご 住 所	〒	
	ご 芳 名		
	電 話		
お買い上げ年月日	年	月	日
保 証 期 間	お買い上げ日より1年間 年 月 日迄		
販 売 店			
店 名			
住 所			
電 話	()		

取扱説明書

サン電子の商品を正しくご使用していただくために
取扱説明書をよくお読みください。

このたびはサン電子の商品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

デジタル放送対応ホーム用電源分離型ブースタ (屋内外用)

■33dB型UHF・VHFブースタ

SBF-33WA

■33dB型UHFブースタ

SBF-33UA

■40dB型UHF・VHFブースタ

SBF-40WA

■40dB型UHFブースタ

SBF-40UA

●特 長

■妨害信号の飛び込みを防ぐ高シールド設計でデジタル放送受信に最適です。

■防雨構造になっていますので、屋外のマストへ取付け可能です。

■各増幅帯域に-10dBの入力アッテネータと0~-10dBの利得調整機能を備えているので、レベル調整が容易に行えます。

■FMカットスイッチの採用により、FM局の強電界地域における干渉を防ぐことができます。(SBF-33WA、SBF-40WA)

■携帯電話帯域(800MHz帯)対策フィルタにより携帯電話等の妨害信号による障害を軽減しています。

■弱電界地域でも安定した画像が得られるローノイズ設計です。

■消費電力を低減した省エネ設計に加え、トラッキング対策用電源プラグを採用しています。

●標準規格

■増幅部

項 目	SBF-33WA			SBF-33UA		SBF-40WA			SBF-40UA	
周 波 数 帯 域(MHz)	FM・VHF(L)	VHF(H)	UHF	FM・VHF	UHF	FM・VHF(L)	VHF(H)	UHF	FM・VHF	UHF
利 得 (dB)	23~28	26~32	27~35	通過損失 -2.0以下	27~35	30~35	35~40	34~40	通過損失 -2.0以下	34~40
適正入力レベル(dBμ)	40~77 (※1 97)	40~73 (※1 93)	40~76 (※1 96)	—	40~76 (※1 96)	40~70 (※1 90)	40~65 (※1 85)	40~71 (※1 91)	—	40~71 (※1 91)
定格出力レベル(dBμ)	105(2波)	105(5波)	111(2波) / 103(※2)	—	111(2波) / 103(※2)	105(2波)	105(5波)	111(2波) / 103(※2)	—	111(2波) / 103(※2)
利 得 調 整 範 囲 (dB)	0~-10以上 (連続可変)	0~-10以上 (連続可変)	0~-10以上 (連続可変)	—	0~-10以上 (連続可変)	0~-10以上 (連続可変)	0~-10以上 (連続可変)	0~-10以上 (連続可変)	—	0~-10以上 (連続可変)
入 力 A T T (dB)	0~-10 (切換式)	0~-10 (切換式)	0~-10 (切換式)	—	0~-10 (切換式)	0~-10 (切換式)	0~-10 (切換式)	0~-10 (切換式)	—	0~-10 (切換式)
F M帯域減衰量 (dB)	※3 0,-15以上 (切換式)	—	—	—	—	※3 0,-15以上 (切換式)	—	—	—	—
雑 音 指 数 (dB)	3.5以下	3.5以下	3.0以下 (※4 3.5以下)	—	3.0以下 (※4 3.5以下)	3.0以下	3.0以下	3.0以下 (※4 3.5以下)	—	3.0以下 (※4 3.5以下)
入 力 切 換	混合(U・V)、単独(U/V)			混合(U・V)、単独(U/V)		混合(U・V)、単独(U/V)			混合(U・V)、単独(U/V)	
入力インピーダンス(Ω)	75(F形)		75(F形)	75(F形)	75(F形)	75(F形)		75(F形)	75(F形)	75(F形)
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)			75(F形)		75(F形)			75(F形)	
V S W R	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下	3.0以下
混 変 調 (dB)	-46以下	-46以下	-46以下	—	-46以下	-46以下	-46以下	-46以下	—	-46以下
相互変調 (dB)	IM2	-53以下	—	—	—	-53以下	-53以下	—	—	—
	IM3	-52以下	-58以下	-68以下	—	-68以下	-52以下	-58以下	-68以下	—
電 源 電 圧 ・ 電 流	DC19V 90mA ※5			DC23V 50mA ※5		DC18V 100mA ※5			DC22V 60mA ※5	
使用温度範囲(℃)	-20~+50			-20~+50		-20~+50			-20~+50	
寸 法(mm)	141.5(H)×143(W)×58.5(D)			141.5(H)×143(W)×58.5(D)		141.5(H)×143(W)×58.5(D)			141.5(H)×143(W)×58.5(D)	
質 量 (g)	480			470		480			470	

■電源部

項 目	DP-27
周 波 数 帯 域(MHz)	76~770
挿 入 損 失 (dB)	1.0以下
入力インピーダンス(Ω)	75(F形) DC重畳端子
出力インピーダンス(Ω)	75(F形)
V S W R	2.5以下
電 源 電 圧	AC100V(50/60Hz)
消 費 電 力	4.0W
出 力 電 圧 ・ 電 流	DC17V 最大150mA ※6
使用温度範囲(℃)	-10~+40
寸 法(mm)	96(H)×135(W)×40(D)
質 量 (g)	320

※1:入力ATT(-10dB)及び利得調整(-10dB)を併用した時の値です。

また、UHF帯域においてはアナログ2波の値です。

※2:アナログ7波+デジタル9波(-10dB運用)

※3:76~85MHzの減衰量

※4:710~770MHz

※5:電源部を接続した時の値

※6:無負荷時(増幅部を接続していない時)27V

SUN ELECTRONICS CO.,LTD.

デジタル放送なら
サン電子におまかせ!

SUN

KT-513-3

保証書付
(裏表紙の下側に保証書となっています)



DP-27(電源部) SBF-33WA(増幅部)
屋内用 屋内外用

●各部の名称

■増幅部(屋内外用)
(SBF-33WA、SBF-33UA、SBF-40WA、SBF-40UA)

FM帯域カット※1

FM帯域をカットしたい場合に使用してください。
出荷時は、OFFになっています。

各帯域入力A T T※1

(入力アッテネータ)
入力レベルを0dB、-10dBの切換えにより調整できます。出荷時は、-10dB側になっています。

入力切換スイッチ

UHFとVHFの入力を単独・混合に切換えます。
出荷時は、単独側になっています。

単独時
VHF入力端子

単独時
UHF入力端子
混合時
U・V入力端子

出力端子(電源部へ)

パイロットランプ

電源が供給されると緑色のランプが点灯します。

各帯域利得調整※1

出力レベルを連続で0～-10dB以上調整できます。
出荷時は、MAX(0dB)になっています。

※1：SBF-33UA、SBF-40UAにFM帯域カット、VHF帯域入力A T T(入力アッテネータ)及び利得調整機能はありません。

■電源部(屋内用)
(DP-27)

電源コード

出力端子(テレビへ)

テレビのアンテナ端子または分波器等へ接続します。

入力端子(ブースタへ)

ブースタの出力端子または電流通過型分配器等の端子へ接続します。
電源(DC17～23V：増幅部によって異なります)が重量されます。
増幅部を接続していない時は27Vです。

パイロットランプ

AC100V入力時に緑色に点灯します。

！ 注意

電源部にはスイッチがありません。AC100Vコンセントを接続すると、ブースタ端子から電流が流れますので、配線終了後、電源を差込んでください。

●同軸ケーブル及び防水キャップの加工方法(F形接栓の締付トルク：2N・m)

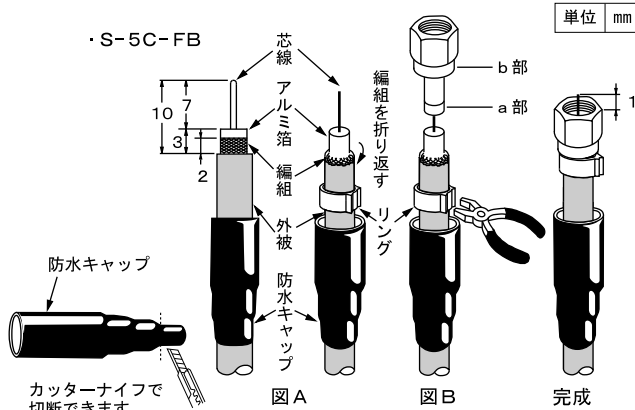
1. 防水キャップを同軸ケーブルの太さに合わせて切断し、同軸ケーブルを加工する前に同軸ケーブルに通します。
2. 同軸ケーブルを図Aのように加工し、編組を折り返します。
3. リングを同軸ケーブルに通し、F形接栓のa部をアルミ箔と編組の間に挿し込み回転させながら、b部が、同軸ケーブルの外被に当たるまで押し込みます。さらに、同軸ケーブルが抜き取れないようにリングのツメ部を図Bのようにペンチ等でさみ込み締付けます。
4. 最後に芯線をニッパー等で切断します。

※7C同軸ケーブルを使用の際は別途ピン付コネクタをご使用ください。
※F形接栓は使用同軸ケーブルにあったものをご使用ください。付属品としてF-5接栓が入っています。

※接栓を取り付けた同軸ケーブルの芯線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。

！ 注意

ペンチ・ニッパー等の使用の際には十分ご注意ください。
また、芯線が指等に突き刺さらないようにご注意ください。



●端子と同軸ケーブルの接続方法

- ケーブルの加工及び防水キャップの加工は「同軸ケーブル及び防水キャップの加工方法」を参照してください。
- 加工した同軸ケーブルは増幅部の各端子に接続してください。
F形接栓の締付トルク：2N・m(約20kgf・cm)
- 防水キャップを押し上げてケースにかぶせてください。
- 使用しない端子にも必ず防水キャップを取り付けてください。
- 作業後は必ずフタが閉まっていることを確認してください。
- 電源部は防水キャップを取り付けずに接続してください。

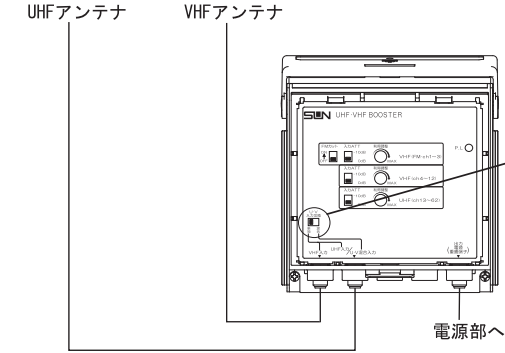
ビニールテープ等で
防水処理をしてください。

上へ押し上げる

●入力切換スイッチの操作方法

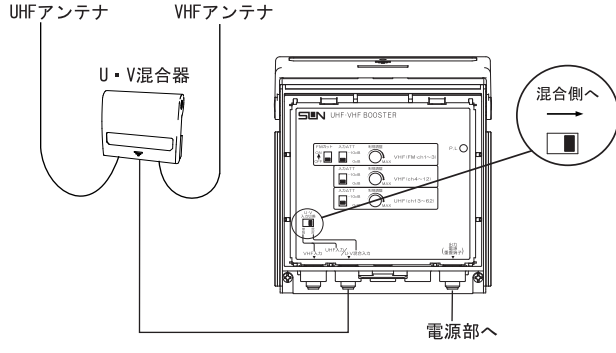
■U/V単独入力の場合

入力切換スイッチを単独(左側)にしてください



■U・V混合入力の場合

入力切換スイッチを混合(右側)にしてください



●付属品

F-5 接栓.....	5 個	取扱説明書(保証書付).....	1 部
防水キャップ.....	3 個	安全上のご注意.....	1 部
±丸木ネジ 3.1×16.....	4 本(内2本は増幅部に装着済)		

●取付方法

増幅部をマストに取り付ける場合	増幅部を壁面に取り付ける場合	電源部を壁面に取り付ける場合
●コの字ボルトを垂直に上げ、本体とマスト保持金具でマストを挟み、蝶ナットでしっかり締め付けてください。 マストの径はφ16.0～φ48.6です。	●ドライバーを使用し、木ネジで固定してください。 ●壁面へ取り付けの場合は蝶ナットとマスト保持金具を取り外して取り付けください。	縦方向 50mm 横方向 90mm ●木ネジはネジの中心から中心へ50mm(縦方向)又は90mm(横方向)の距離に取り付けてください。 ●木ネジの頭と壁の間は2mm～3mmあけてください。 ●2本のネジに電源部を引っ掛けてください。 ●電源部は壁に掛けて使用するだけでなく、置いて使用する事もできます。

保証規定

万一故障の際は現品をお買上店経由、最寄の当社営業所宛にお送りください。故障状況を故障内容欄に必ず記入してください。

次の原因による故障は保証いたしかねます。

1. 保証書の有効期間を経過している場合。
2. 火災、浸水、その他天災により故障が生じた場合。
3. 不慮の事故、使用上の誤りが原因である場合。
4. 当社以外で修理又は改造により故障が生じた場合。
5. 本保証書にお買上げ販売店の捺印および記入欄に記入のない場合。

上記に該当する場合は全て有償修理となります。

見 本

故障内容